

研究課題番号	1RF-2103
研究課題名	原発事故地域における森林火災後の放射性物質・再拡散予測システムの開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	福島大学
研究代表者名	五十嵐 康記

1. 委員の指摘及び提言概要

原発事故地域における森林火災後の放射性物質の拡散予測は極めて社会要請の強い課題であり、今後さらに重要になってくると思われる中、チェルノブイリ・森林火災の検証を行い、森林火災域判定 AI を開発し、ウクライナ危機の中、放射性物質拡散予測を実施したことを評価したい。福島十萬山火災のモデル推定結果は興味深く、モデル推定結果の検証を含めて、早い原著論文文化が望まれる。消失バイオマス量の評価、大気拡散モデリング、河川流出・沈着モデリングに不確実性や取り込まれていない過程があるので、それらを改良し、さらに現場の状況（植生、土壌タイプ等）を取り込むことによって、流出・沈着量の評価の確度を高めることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A